

対馬暖流の流量は平年の2割増し  
暖流域の表層水温は平年よりも2℃高い  
今後の沿岸水温は平年よりも高く推移する

2025年2月16日～24日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。  
対馬暖流は積丹半島沖では沿岸寄りを、武蔵堆周辺では沿岸と沖合のルートに分かれ北上しています（図1c）。  
対馬暖流の流量は約1.5 Sv（1 Sv=10<sup>6</sup> m<sup>3</sup>/s）で、平年の2割増しとなっています（2月流量の平年値は1.2 Sv）。  
50 m深水温は4～8℃で、石狩湾以北の沿岸域を中心に平年よりも約2℃高くなっています（図1a,b）。  
3月上旬の余市前浜水温は「かなり高い」ですが（※1）、向こう1カ月の気温の予報は高くなる確率が60～70%となっていますので（※2）、今後、沿岸水温は平年よりもさらに高く推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：[気象庁 | 季節予報](#)



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

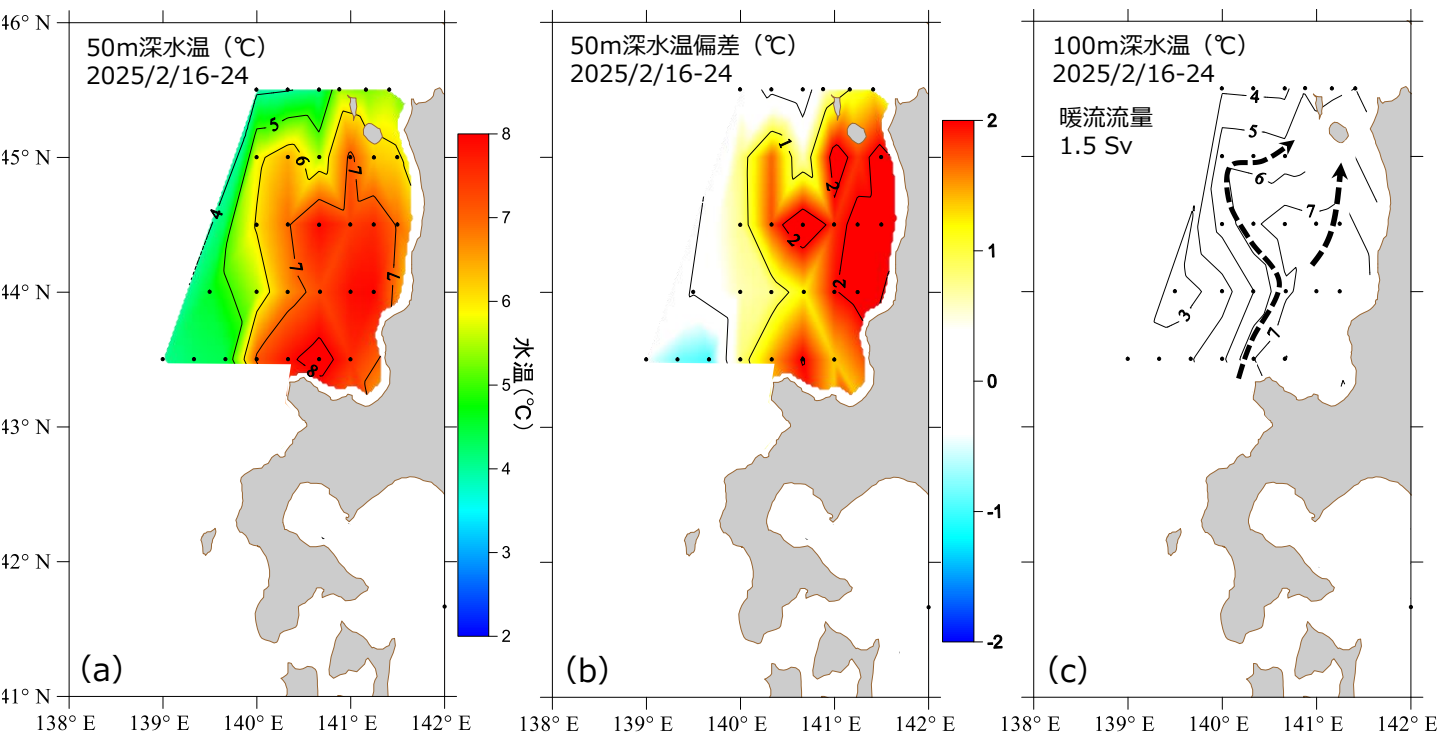


図1 2025年2月中下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s）。